

# 令和3年度 日南市立日南東郷小中学校 自己評価書

4 期待以上      3 ほぼ期待通り      2 やや期待を下回る      1 改善を要する

目標	具体的目標	方策・手立て	自己評価	手立てとして行ったことや感想また今後、取り組みたいこと等	学校運営協議会委員評価
<p>1 学校の教育目標「豊かな心で、自ら学び考え、たくましく生きていくことができる子どもの育成」</p> <p>2 めざす子ども像「優しい子ども」「賢い子ども」「たくましい子ども」</p> <p>3 めざす学校像「明るく活気に満ち、夢と希望のある学校」「尊敬と信頼に支えられる学校」「地域に開かれ親しまれ、信頼される学校」</p> <p>4 めざす教師像「教育愛に燃え、実践する教師」「教育目標の具現化に取り組む教師」「子どもの可能性を引き出し伸ばす教師」</p> <p style="text-align: center;">＜学校経営ビジョン＞ 夢や目標実現に向け、地域と一体となり小中一貫して東郷の子どもを育む （日南教育の推進）</p>					
1 優しい子どもを育てる	○道徳教育の充実	○道徳の時間の確保と充実を図るとともに、児童生徒の実態に即した道徳教育を展開することで他者を深く理解する態度を養う。 ○“対話的で深い学び”を目指した授業を構築し、道徳実践力の育成を図る。	3.2	○自他の生命尊重、規律ある生活、自分の将来の考え、法やきまりの意義、主体的な社会形成への参画等、日南市の「4つの学び力」に関する項目を重点事項として、その充実に努めた。 ○他者を深く理解する態度を養うように、道徳科の時間の充実を図り、「対話的で深い学び」を実現する授業を展開した。	3.7
	○挨拶、気持ちよい返事、感謝の言葉の励行	○日常活動を工夫し機会を捉えた適切な指導を行うことにより、児童生徒に、挨拶、気持ちよい返事、感謝の言葉を伝える習慣と、整理整頓に心がけしっかりと清掃を行う力が身に付くようにする。	3.1	○日常の指導だけでなく、児童生徒が主催した挨拶運動等によって、気持ちの良い挨拶や返事をする習慣が身に付いてきている。 ○感謝の心を常にもつよう指導したり、ボランティア活動等の体験活動の充実を図ったことで、「ありがとう」の言葉が言える児童生徒が増えてきている。	
	○児童会生徒会活動を通しての共生力の育成	○みのり集会や学校行事等で児童会生徒会の活動が生かせるようにするなど、子どもが中心となる活動を工夫することで児童生徒の共生力を育成する。	3.1	○コロナ対策によって大集団での活動が制限され、本校ならではの活動「みのり集会」が十分に実施できなかった。 ○全校専門委員会では、共通した目標に取り組んでいるが、児童生徒が自ら主体的に行う訓練や機会が不足しているようであり、児童生徒が企画・運営していく機会をもっとつくる必要がある。	
2 賢い子どもを育てる	○分かる授業の充実	○「授業改善のチェックポイント」を土台とした授業改善を継続し、分かる・できるまで教える授業を実践する。 ○読解力を育成することを意識した授業づくりを行う。 ○校内研修を充実させながら学習指導法の工夫・改善を図る。	3.3	○校内研修を充実させながら、授業改善の4+4のチェックポイントを基に、本校の授業改善のポイントを作成し、全職員で共通理解しながら相互参観授業を実施することができた。効果的な授業改善が図られたと思う。また職員の意識も高めることができた。 ○ICTを授業の中で活用することに試み、教師、児童生徒のほとんどが活用できる状況となった。	3.3
	○学力の向上	○朝の活動やモジュール学習を活用し、読み、書き、計算等の基礎的学力の定着を図る。 ○評価テストの在り方を工夫する。	3.1	○小学校の複数の学年で「速音読」の練習に取り組んだ。 ○小学校では、朝や午後の15分を学習の習熟を図る時間として位置づけ、基礎的・基本的学力の定着を図った。 ○全国学力調査等の過去の問題に取り組ませることで、読解力や活用問題に対応できる能力の育成を図った。	
	○読書活動の推進	○日南市「旅する読書」活動を推進する。 ○親子読書や読み聞かせなどの取組を工夫することにより読書活動を充実させる。（小学校） ○集団読書を通して短編の良書に触れる機会を設定する。（中学校）	2.9	○日南市の「旅する読書」活動の取組では、4年生児童が読書100冊を達成し表彰を受けた。 ○コロナ禍による学校の図書館の利用が制限されたが、校内100冊10名、200冊1名の達成者があった。中学生による小学生への読み聞かせも実施することができた。 ○家庭での読書を推奨したり、PTAによる読み聞かせ・読み声や親子読書、たいよう号活用などを推進したりすることができた。	
	○キャリア教育の推進	○夢や自己実現を目指し、勤労を重んじる態度を育成する。	2.9	○学校行事や総合的な学習の時間等にキャリア教育を推進し、キャリアパスポートを活用することができた。中学校では、8、9年生は職場体験学習を行い、将来の進路選択に向けた意識の向上を図った。また7年生は東郷地区の農業体験を行い、地域の産業を学ぶとともに郷土を愛する心の醸成を図った。 ○キャリア教育の重要性を、学校と保護者でもっと共有する必要がある。	
	○学校と家庭の連携による学習指導の充実	○保護者への啓発を強化したり家庭学習の目的や実施方法について指導したりして学習指導の充実を図る。 ○児童生徒の実態に配慮し、適切な課題を提示することにより学習指導の充実を図る。	3.0	○コロナ禍の中、感染症対策を保護者へ啓発し、学校と家庭との連携を講じながら、参観日や地区懇談会、運動会、学習発表会を実施することができた。 ○ホームページで学校の様子等を定期的に紹介する情報提供に努め、4月からの視聴者が12月現在50000人を超えている。	
3 たくましく生きる子どもを育てる	○健康安全・体育的行事の充実	○運動会や持久走大会などの体育的行事の充実を図る。 ○避難訓練や交通安全教室などの取組を工夫する。 ○学校保健委員会を開催し保護者の体育学習や保健学習への理解を深める。 ○体力向上プランを活用した体育学習及び保健学習の指導を実施するとともに、運動の日常化を推進し運動能力の向上を図る。	3.1	○本年度も運動会は、コロナ感染拡大防止のため参観制限及び午前中開催と規模を縮小して実施した。その中でも、運動会の目標を達成し、児童生徒が満足できるような取組はできた。持久走大会も参観者数を制限して予定通り実施し、目標を達成する取組ができた。 ○体力向上プランについては、コロナ禍の影響で、十分に目標を達成することができなかったが、日頃の体育授業や体育的行事を通して児童生徒の体力維持に繋がることができた。 ○早寝早起き朝ご飯については、夜更かし、朝ご飯抜き又は少量の生徒がまだまだいるように思う。今後も家庭と連携し、改善に努めていけたらと思う。 ○避難訓練や交通安全教室については、コロナ禍に対応しながら工夫した取組を行い、児童生徒の防災・安全意識の高揚を図ることができた。また、学校安全総合支援事業に係る、「避難確保計画」を作成することができた。	3.7
	○食育や健康教育の充実	○栄養職員や外部講師と連携した指導など工夫した取組を行い、性教育や命を大切にする教育、食育や健康教育の充実を図る。	3.3	○性教育・いのちを大切にする教育については、いのちの教育週間を年3回設定し、レインプランに基づいた取組を行うことで、自他のいのちを大切に守り育む態度を育成することに努めた。 ○栄養教諭を招いて、給食時間に望ましい食生活等について学ぶ機会を設定した。給食作りや保健便りて啓発を行った。	
	○部活動への積極的参加	○計画的で充実した活動の工夫を行う。（中学校）	3.5	○コロナ禍の影響もあり、生徒の持久力の低下を感じた。部活動ができない時期が続き、練習試合や大会中止等により、実戦経験不足を強く感じた。だからこそ、もっと上手になりたいという欲求は以前より強くなったと感じる。 ○土日いずれかと、火曜日を休養日（リフレッシュデーの設定）とし、適度な部活動休養日を設け、計画的で効率的な練習ができるように各部で工夫することができた。	
4 地域との連携の充実	○ふるさとを知り、ふるさとを大切に育む心 ○地域の方々との交流を通して、地域を愛し、愛される子どもの育成	以下のような活動を充実させる。 小学校：稲作体験 さとねり体験 / 拡大クラブ活動・もちつき・たこ揚げ大会・ひな山まつり（中止） 中学校：キンカン収穫 小中合同：日南くろしお支援学校との交流 四季の森こども園との交流 大運動会 学習発表会 つわぶき植栽 / フェスタ日南東郷・くすのき祭り・風田浜清掃（中止）	3.0	○コロナ禍によって以前より地域の方との交流が減っているとは思われるが、限られた場面の中でも積極的に交流することができていると思う。 ○地域コーディネーターの協力によって、学習支援ボランティアの多大なる支援が行われていることは、ただただ感謝しかない。地域への感謝集会を開き、代表を招いて感謝の意を表す機会を設けたい。 ○昨年度は中止となった「ひな山まつり」で交流できることを楽しみにしている。 ○「つわぶき植栽」が昨年度は中止となったが、今年度は多くの中学生ボランティアの参加があり、「つわぶきマラソン大会」を陰ながら支える活動ができてよかった。	2.8
<b>学校運営協議会委員のコメント</b>		<p>○ コロナ禍で学校も大変ですが、生徒のため感染対策等してくださっている中、先生方も生徒、学校のためいろいろやっただきありがとうございます。</p> <p>○ コロナ禍の中、感染予防対策を講じての行事に参加させていただき、子どもたちの生き生きと活動する様子を知ることができました。学年に応じた活動に創意工夫が見られ、日常生活の積み上げの成果だと思えます。</p> <p>○ 運動会には取り組む過程の苦労が多々あったことと察します。すばらしい競技に大きな拍手を送りました。</p> <p>○ 学習発表会の琴の演奏はとても素晴らしいです。持久走も全員完走。この1年の成長を確かな足跡として残していると確信します。</p> <p>○ コロナ禍によって、色々制限がある中、試行錯誤されての取組を見させていただきました。まだ、先の見えないコロナ禍ですが頑張ってください。</p> <p>○ 児童生徒代表との意見交換と、児童生徒たちの部別プレゼンテーションには驚きました。主体性を持たせるためには良いことだと思いました。</p> <p>○ グループで活動する事によって思いがけない事などを体験すると思えます。</p>			